



議会HP

Kimitsu City Assembly News

第4回定例会

発行／君津市議会 編集／きみつ市議会だより編集委員会

No. 139
2020. 2. 1



消防出初式

～安全安心な君津を願って～

1月12日(日)に君津市民文化ホールにて、消防出初式が行われました。消防本部、消防署、消防団などの消防関係機関が1年の安全安心を願い、人員・装備や消防訓練の成果を広く市民の皆さんに披露し、また、消防広場では、地震体験、煙体験を行うなど、消防・防災への意識を改めました。



君津市
マスコットキャラクター
きみぴょん

主 な 内 容

第4回定例会のあらまし	2
補正予算の概要	3
議案等の審議結果	5
一般質問Q & A(9議員が質問)	6
委員会の焦点	10
決算審査特別委員会の概要	12

第4回 定例会 の あらまし

災害復旧に係る一般会計補正予算、 各施設の指定管理者の指定など可決

第4回定例会は、11月28日から12月19日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会では、初日に10月25日の第1回臨時会で継続審査となっていた、平成30年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど、6議案が認定されました。

市長からは、「令和元年度君津市一般会計補正予算（第8号）」などの31議案、委員会からは、「君津市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について」の1議案が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

一般質問では、9人が登壇し、市政運営等について、活発な議論が展開されました。

本会議討論



●議案第16号

国保小櫃診療所の指定管理者の指定について

反対

国保診療所は、市の直営において、市民の命と健康を守ることが意義であること、また、指定候補者（公益社団法人地域医療振興協会）の近隣での実績が見えないため、同意できない。

賛成

平成29年度に医師が退職して以降、市として、医師の確保に尽力してきたが、理想の診療体制を維持するのは難しい状況であり、診療日数の早期拡大を図るためには、指定管理者制度の導入が最善であると考ええる。

指定候補者は、「へき地」医療の充実を目的とした団体であり、医師等の人員確保に関して、ネットワークが構築されているため、本団体に管理をゆだねるこ

とは、小櫃診療所の安定的な運営につながるものと考ええる。

●議案第17号

君津市物産館の指定管理者の指定について

反対

過去にトラブルがあったと聞いている。また、それらについて改善が図られていないと思われるため、賛成できない。

賛成

君津市物産館は、使用に係る料金を指定管理者の収入として収受させる利用料金制度を導入することが決定しており、指定管理者のインセンティブを高めることにより、施設のより効果的な活用が図られ、観光客の満足度が向上されるものと考ええる。

指定候補者（有限会社 きみつふれあいの里）は、店内を常に巡回し、利用者に対し注意を払うとともに職員の応接態度についても監督をする「指定管理部長」という役職を設けるとしており、新たな管理体制のもと、地域の経済振興に資する施設となることを期待する。

災害復旧に向けて 一般会計補正予算



今定例会では、君津市一般会計補正予算（第7号、第8号、第9号）に係る議案の審査を行いました。これらの補正予算は令和元年台風15号、19号及び10月25日の大雨に伴う災害復旧に要する経費を主なものとして計上したものです。

主な事業

◆議案第26号

補正予算（第7号）

※令和元年11月18日
付けて専決処分を
行いました。

●被災者支援事業

542万2千円

（台風15号等により被災した方を支援する相談窓口業務を行います。）

●被災住宅応急修理事業

3億8,866万7千円

（全壊・大規模半壊・半壊・一部損壊（10%以上20%未満）の被災住宅の応急修理を行います。）

●被災住宅修繕緊急支援事業

3億4,073万5千円

（一部損壊（10%未満）の被災住宅の修繕に対する補助を行います。）

◆議案第27号

補正予算（第8号）

●職員人件費

6,774万7千円

（県の人事委員会勧告を参考とした一般職の給料改正などによる補正を行います。）

●災害廃棄物処理事業

3,340万7千円

（農業に関する災害廃棄物の処分を行います。）

●経営体育成支援事業

21億855万3千円

（被災したビニールハウスなど農業施設の撤去や再建の助成を行います。）



台風15号により被害を受けたビニールハウス

●ふるさとときみつ応援寄附金事業

1億2,960万8千円

（寄附金の受け入れ額の増加に伴い、委託業者へ支払う費用などを増額します。）

●農地災害復旧事業

4,229万9千円

（農地の復旧及び被災した農家に対する支援を行います。）

●道路橋梁災害復旧事業

2億1,534万9千円

（道路の災害復旧のための工事・重機借り上げなどを行います。）



10月25日の大雨により路肩崩落した道路（加名盛地先）

●河川災害復旧事業

9,659万9千円

（河川の災害復旧のための工事・重機借り上げなどを行います。）

●公園施設災害復旧事業

9,770万円

（君津緩衝緑地の災害復旧のための設計・工事を行います。）



台風15号により護岸崩落した御腹川（川谷地先）

◆議案第31号

補正予算（第9号）

※市長提出追加
議案

●災害廃棄物処理事業

2億7,015万7千円

（台風15号及び台風19号による半壊以上の損壊家屋の解体・撤去などを行います。）

※委員会審査の中で出た質疑については、委員会の焦点（10ページ（11ページ）で掲載しています。



常任委員の 定数を変更

発議案第5号

令和元年9月の君津市議会議員一般選挙より、議員定数が24名から22名になったことから、各常任委員の定数を改めるため、君津市議会委員会条例の一部を改正しました。委員の定数については次のとおりです。

●総務常任委員会

8名（変更なし）

●教育福祉常任委員会

7名（1名減）

●経済環境常任委員会

7名（1名減）

人権擁護委員

棟方 栄子（中島）

鳥井みゆき（向郷）

教育委員会委員

佐藤 薫（清和市場）

固定資産評価審査委員会委員

重田 和士（辻森）

色部 昭男（坂田）

飯田 朝夫（箕輪）

人事案件に同意

議 会 用 語 Q &A

除斥（じょせき）とは

議会における審議を公正なものにするため、議題となった案件と一定の利害関係にある議員を、その審議に参加することができないようにすることです。

専決処分（せんけつしふぶん）とは

議会が議決しなければならない事項を、市長が代わって意思決定することを行います。時間的に議会の招集を待てない緊急な場合などにできることになっていますが、専決処分の後に、議会に報告し承認を求める議案の提出が必要です。このほか、あらかじめ議決によって特に指定したものは専決処分ができますが、その後議会への報告が必要です。

継続審査（けいぞくしんさ）とは

長期間調査する必要があるなど、会期中に処理することができない案件があった場合に、議会の議決によって、閉会中も引き続き委員会で審査を行うことです。

議会本会議を配信しています！

本会議のライブ配信・録画配信を行っています。また、本会議の翌日（土日祝日を除く）に速報版として無編集の録画映像を見ることができます。ぜひご視聴ください。

配信 内容

定例会及び臨時会の本会議

注意

速報版は無編集の映像となっています。本会議後おおむね7日以内に議事日程や一般質問の議員ごとに編集した映像への切り替えを行います。配信内容は公式記録ではありません。視聴の際は、配信ページ内の注意事項を必ず確認してください。

アクセス 方法

- ①君津市議会ホームページの左下にある「インターネット中継」をクリック。
- ②左側に「本会議ライブ配信」「本会議録画配信」等のメニューが表示されますので、視聴したいページを選択し、ご視聴ください。



☆スマホ・タブレットからもご視聴いただけます。

スマートフォン用アプリ「マチイロ」で 「議会だより」をご覧ください。

アプリをダウンロードし、「お住まいの地域」で君津市を選択すると、いつでもどこでもスマホやタブレットなどで「議会だより」を閲覧することができます。



Android 用
スマホ・タブレット▶

iOS 用
iPhone・iPad など▶



※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担になります。



出席議員全員が賛成した議案（全会一致）

◆市長提出議案

議案番号	件名	議案番号	件名
認定第3号 (継続審査案件)	平成30年度君津市聖地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議案第14号	君津市地域福祉推進センターの指定管理者の指定について
認定第4号 (継続審査案件)	平成30年度君津市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	議案第15号	君津市老人憩いの家の指定管理者の指定について
議案第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第18号	君津市農村環境改善センターの指定管理者の指定について
議案第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	議案第19号	君津市森林体験交流センターの指定管理者の指定について
議案第3号	教育委員会委員の任命について	議案第20号	君津市久留里観光交流センターの指定管理者の指定について
議案第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案第21号	君津市交通広場駐車場の指定管理者の指定について
議案第5号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案第22号	君津市立公園（亀山湖畔公園）の指定管理者の指定について
議案第6号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	議案第23号	君津市小糸スポーツ広場の指定管理者の指定について
議案第7号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	議案第24号	君津富津広域下水道組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について
議案第8号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	議案第25号	財産の無償譲渡について
議案第9号	一般職の職員の給与等に関する条例及び君津市任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議案第26号	令和元年度君津市一般会計補正予算（第7号）についての専決処分の承認を求めることについて
議案第10号	君津市税条例の一部を改正する条例の制定について	議案第27号	令和元年度君津市一般会計補正予算（第8号）
議案第11号	君津市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	議案第28号	令和元年度君津市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
議案第12号	君津市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	議案第29号	令和元年度君津市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
議案第13号	君津市神門コミュニティセンターの指定管理者の指定について	議案第30号	大盛橋橋梁整備工事（下部工外）請負契約の締結について
		議案第31号	令和元年度君津市一般会計補正予算（第9号）

※議案第14号については、地方自治法第117号の規定により、下田議員は除斥のため、採決に加わっていません。

◆委員会提出議案

議案番号	件名
発議案第5号	君津市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

賛否の分かれた議案

◆市長提出議案

賛否の分かれた議案		議決結果	令和新政						創政会				きみつ未来		公明党		かがやき君津		諸派	加藤登代美					
			宇野晋平	鈴木高大	村上幸人	須永和良	小倉靖幸	三浦章	錦田剛	下田剣吾	保坂好一	高橋明	小林喜久男	石上壘	松本裕次郎	磯貝清	高橋健治	佐藤葉子	野上慎治	船田兼司	奈良輪政五	橋本礼子	三浦道雄		
◆市長提出議案																									
議案番号	件名																								
認定第1号 (継続審査案件)	平成30年度君津市一般会計歳入歳出決算の認定について	○認定	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
認定第2号 (継続審査案件)	平成30年度君津市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第5号 (継続審査案件)	平成30年度君津市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
認定第6号 (継続審査案件)	平成30年度君津市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○認定	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第16号	国保小櫃診療所の指定管理者の指定について	○可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第17号	君津市物産館の指定管理者の指定について	○可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	除

※議長は、地方自治法第116条の規定により、採決に加わっていません。

表の見方 ○：賛成 ●：反対 除：除斥



／市政を問う！／

一般質問

Q & A

第4回定例会では、9人の議員が一般質問を行いました。
各議員の質問の大綱については下記のとおりです（通告順）
マーカーの項目は、本文に内容を掲載しています。
なお、掲載記事は、質問した議員自らの寄稿によるものです。

小倉 靖幸 議員

P.7

令和新政

- ・市長の政治姿勢について
- ・第2期君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略と総合計画について
- ・都市行政について
- ・消防防災行政について
- ・交通政策について

佐藤 葉子 議員

P.8

公明党

- ・大規模災害への対応について
- ・環境対策について
- ・消費税増税の円滑な運用について

石上 壘 議員

P.9

きみつ未来

- ・防災・災害対策について
- ・ファシリティマネジメントの推進について
- ・スポーツ振興による新たなまちづくりについて

松本 裕次郎 議員

P.7

きみつ未来

- ・行財政運営について
- ・安全安心に暮らせる自然と共生するまちについて
- ・地域の力で築く活力あふれるまちについて
- ・豊かな学びと文化が人を育むまちについて

須永 和良 議員

P.8

令和新政

- ・災害対応について
- ・庁舎の再整備について
- ・市内産業廃棄物最終処分場について

船田 兼司 議員

P.9

かがやき君津

- ・災害対応について
- ・第3次まちづくり実施計画について
- ・教育行政について

高橋 健治 議員

P.7

公明党

- ・被災された市民の生活復旧について
- ・災害に強いまちづくりについて

下田 剣吾 議員

P.8

創政会

- ・自然災害の対応について
- ・安全な小糸川にするために
- ・新しい学校給食共同調理場について
- ・契約について
- ・森林の整備について
- ・鳥獣害対策について

三浦 道雄 議員

P.9

諸派・日本共産党

- ・台風15号・19号等への復旧・復興対策について
- ・行財政運営について
- ・福祉・医療行政について
- ・教育行政について
- ・環境行政について



令和新政
小倉 靖幸 議員

次期総合戦略と総合計画

Q 次期総合戦略の策定状況について伺う。

A 結婚・出産・子育て世代や転入者を対象としたアンケート調査等を踏まえ、「安心して働ける仕事をつくる」、「君津への人の流れをつくる」、「安心して出産・子育てができる環境をつくる」、「つながり・支え合いによる安心安全なまちをつくる」の四つの基本目標に従い、素案の策定を進めている。

Q 総合計画の見直しについて見解を伺う。

A 市制施行50周年を迎える令和3年を目途に、第2期「まち・ひと・しごと創生」総合戦略、国土強靱化地域計画を一本化するかたちで、新たな君津市総合計画を策定していく。

都市行政

Q 君津IC周辺の土地利用について見解を伺う

A 都市的土地利用が厳しく制限されているが、地域の立地特性や利便性の高さを活用することは、町の活性化につながると考える。今後も県や商工会議所等との連携により、あらゆる可能性を検討する。

交通政策

Q 交通空白地域解消の具体的対策を打ち出す時期であるが、見解を伺う。

A 小糸・清和地区については、住民協働による公共交通機関の運行に引き続き取り組むが、市街地に近接する地域についても、行政による支援制度の検討など、地域の実情に応じた仕組みづくりに努める。



きみつ未来
松本 裕次郎 議員

防災行政無線

Q 今回の一連の災害で防災行政無線へのトラブルがあったのか伺う。

A 暴風による倒木で、屋外拡声子局への引込線が断線したケースがあり、東京電力に改修依頼をした。また、長期停電により、予備バッテリーが充電切れとなり、放送が流れない地域も発生した。情報伝達の代替手段として、清和・小櫃・上総地区にて、広報きみつ災害臨時号等の各戸配布、広報車による周回放送などの対応を行った。

Q 風水害に対しての今後の課題について、また、課題の解決に向けてのどのような取り組みをしているのか伺う。

A 長期停電における、屋外拡声子局の電源対策が課題として明らかとなった。現在は72時間対応の予備バッテリーを配備しているが、これを超える停電が予想される場合の対応策について検討していく。

橋梁への被害

Q 今回の一連の災害で橋梁への被害があったのか伺う。

A 小糸地区の福岡と糸川を結ぶ小糸川に架かる小糸橋について、増水による大量の流木の堆積があった。なお、千葉県君津土木事務所の早期の対応により、流木の撤去は完了している。

Q 小糸橋の架け替えはいつ行われるのか伺う。

A 小糸橋の架け替えについては、これまで右岸の橋台を構築しており、本年に左岸の橋台築造を予定している。令和3年度の完成を目指し、来年度以降、桁の製作架設工、舗装工などを予定している。



公明党
高橋 健治 議員

災害時の居住確保

Q 居住困難者に対し、緊急避難的な住居確保を行政が率先して支援すべきと考えるが、見解を伺う。

A 今回、住宅被害を受けた被災者に対しては、県営住宅や民間賃貸住宅の無償提供、賃貸型応急住宅の案内を行った。また、被災者支援相談窓口を設けワンストップで受付を行っている。

道路整備

Q 災害による道路への土砂崩れ等により生活に支障をきたした。現状と今後の道路整備について伺う。

A 台風やその後の豪雨により、多くの箇所で土砂崩れや倒木により通行止めとなった。早期の復旧に向け取り組んでいる。今後も災害に強い道路整備に向け安全で安心して通行できるよう対策を図る。

停電対策

Q 今回の長時間に渡る停電に対して、市の対応と今後の取り組みについて伺う。

A 避難所の電源確保、電源車の要請、発電機の確保等を行った。今回の災害を教訓に、迅速な電源確保のための発電機の配備先や電源車の必要な施設の一覧作成をするともに発電機の配備拡大にも取り組む。

緊急時の情報伝達

Q 市民の安全安心のためには現在の情報伝達状況は十分とは言えない。今後の取り組みについて伺う。

A 防災行政無線を補完するため、メール配信、SNS、フリーダイヤル等で情報発信を行っているが、利用をしていない方も多数いるので、複数の情報収集手段を持つて頂けるよう周知に努める。



公明党
佐藤 葉子 議員

安心して避難できる体制整備を

Q 台風19号の際、多くの方が避難を考え、避難行動をとったが、避難所難民が生じた。開設の判断基準や開設されなかった避難所の理由を伺う。

A 風水害の場合は、気象情報等を基に総合的に判断し、順次追加開設し対応したが、台風15号の影響で雨漏りや屋根の損傷等で開設が不適当な施設が多かった。早急に修繕する。

Q 一般避難所における福祉避難スペースを明確化すべきではないか。

A 必要となる備蓄品の確保を進めるとともに、施設管理者と具体的な協議を進める。

市民の命を守る初動体制整備

Q 長期停電など多くの想定外を受け、行政の初動体制の見直しの必要性や今後の視点を伺う。

A 広大な市域を有する本市にとって市民への情報伝達と要望等の収集に大きな課題があることが明確となったため、体制の構築をしていく。

小中学校へ太陽光発電装置の計画的な設置推進

Q 環境教育の教材として、環境負荷の低減、非常時の電源として小中学校へ太陽光を設置すべきでは。

A 建て替えや改修等を行う際に検討する。

プレミアム付商品券の効果的な活用推進

Q 家計の下支えや地域経済活性化に向け、活用推進すべきと考えるが、見解を伺う。

A 申請時期を1月31日まで延長。利用可能店舗の拡大や回覧板等で仕組みや制度の周知をしていく。



令和新政
須永 和良 議員

タイムラインの策定

Q いつ誰が何をするかに着目し、時系列で整理した災害時の行動計画であるタイムラインの策定についてどのような認識を持っているか伺う。

A タイムラインの重要性を深く認識したところであり、現在、計画案を作成中である。今回の災害についても十分検証し、より良い計画としたうえで、スピード感をもって取り組んでいく。

教室の避難所利用

Q 台風19号の時には避難所が満員になり、バスで文化ホールに送るといった状況にもなった。雨漏りで使えない体育館もあった。学校の普通教室を避難所として使えるようにできないのか伺う。

A 災害発生時の状況に応じて担当部と協議して、教室の使用も検討していく。

公用車としての電気自動車配備

Q 避難所となる公民館などの公用車を電気自動車に更新することにより、非常時には電源として使えるのではないかと考えるが、見解を伺う。

A 発電機の代替用として活用できるので停電時には有効であると考え。経済産業省の方でも動きがあると聞いているので前向きに検討したい。また、事業者等との災害時応援協定等も検討していく。

停電を未然に防ぐ計画伐採

Q 停電を未然に防ぐため、計画伐採を本市でもやるべきだと思うが、森林環境税は使えるか。

A 森林環境税による森林整備の施策の中に盛り込むことで活用できる。



創政会
下田 剣吾 議員

市民に寄り添う被災判定と避難の支援を

Q 今回の台風で被災した住宅の判定や罹災証明について、市民に寄り添う対応がされていたのか伺う。

A 調査は国の基準に基づいて実施した。窓口では判定の根拠と合わせ、支援メニューの説明も行った。雨漏りのカビで住む事ができないのに、住む事ができるという判断があった。改善の必要性を伺う。

Q 国の基準にはカビ被害の明確な規定がないが、本市は損壊部分として扱った。問題点を検証したい。

A 全壊と半壊の判定には大きな差がある。全壊なら最大300万円の生活再建支援金を受け取れるが、半壊はゼロ。地震が基準のため、半壊とされても住む事ができない市民がいた。自治体によっては大規模半壊と認める所もあった。長年暮らした家を離れざるを得ない人に寄り添う判断ができなかったのは問題。関連して災害時の避難について聞くが、車がなく、近くの集会場や自治会館に避難したいという方の位置づけが決まっていない。検討が必要だと思うが、見解を伺う。

Q 移動が困難な方等が近所で助け合いながら避難するのは共助の一つ。相談に応じて個別に検討する。例えば小糸大谷や長石地区は増水した川を渡らな

A いと公民館に避難できない。木更津のかずさアカデミアパークに避難することも緊急的には考えてほしいが、見解を伺う。

Q 隣接自治体と連携しながら、対応を検討していく。

停電や道の寸断を防ぐため事前に伐採を

Q 台風で木が倒れ、市道や電力復旧の妨げになった。場所を把握し優先して整備すべきだが、見解を伺う。

A 倒木箇所の調査と、今年度導入された森林環境譲与税や国の補助事業も活用し森林整備に取り組む。



きみつ未来
石上 塁 議員

歩道及び街路樹の整備

Q 今回の災害を受けて、街路樹等の管理をきめ細かく対応する必要があると考えるが、見解を伺う。

A 年1回の剪定計画であるが、全ての街路樹は行っていない。パトロールや剪定時に、育成状況確認を行い、倒木被害等をなくすよう管理していく。

空き公共施設の活用

Q 空き公共施設の活用については、サウディング調査を実施して、色々な知見を参考にすべきと考えるが、見解を伺う。

A 旧職員住宅・教職員住宅は、解体条件等について検討中。旧学校給食共同調理場は、土地の境界等の状況を整理中。学校再編による空き施設については、まちづくりプロジェクトで得られる意見を参考に、利用に係る総合的な考え方を定める方針を策定し、取り組みを進めていく。

内みのわ運動公園の再整備

Q スポーツ振興・健康増進をより一層図るため、再整備を進めるべきと考えるが、見解について伺う。

A 市民が身近に自然を感じる憩いの場の形成やスポーツ拠点としての機能性・利便性向上を図るため、民間活力導入も視野に入れ、施設内容や整備手法を検討していく。

メディカルスポーツセンターの今後

Q 施設整備を含めた今後の方向性について伺う。

A 庁内検討委員会で今後の方向性を協議し、その結果を踏まえ、施設整備及び利用目的の見直し等について、財団法人体力づくり指導協会と協議を進める。



かがやき君津
船田 兼司 議員

台風15号、台風19号とその後の大雨

Q 市内における被害状況と災害対応、また、復旧復興についての取り組みについて伺う。

A 一連の災害によって、住宅損壊は3千棟を超え、農業被害は推計で28億円、災害ごみは市内3カ所に受け入れ場所を設置し、11月末現在、約1万1千台の搬入があった。今回の災害データや教訓をもとに地域防災計画の大幅な見直しを行い、災害に強いまちづくりを進めていく。

Q 他の公共団体から人的、物的支援を受けたことにより、後に費用が請求されることがあるのか伺う。

A 災害協定を結んでおり、その支援の中で一部費用が後日請求されると考えている。

農業振興地域整備計画の見直し

Q 農業経営の形態も時代とともに変化していく中で、健全な発展に資するための見直しについて伺う。

A 令和4年度を目途に行う考えであり、総合計画における土地利用の検討と一体的に考えていく。

学校再編第2次実施プログラム

Q 大和田小と坂田小を統合し、統合後は坂田小学校舎を使用することにした理由について伺う。

A 周西中と君津高校の間に位置し、連携しやすいことと、また施設の状況などを総合的に判断した。

Q 今後は第3次実施プログラムで、学区の抜本的な見直しも含めて考えるとしているが、具体的にどのように進めていくのか伺う。

A 通学路など、学校の状況や施設の状態をよく知る学校関係者との検証を加速させ、令和2年度を目途に第3次実施プログラム案の公表をする。



諸派・日本共産党
三浦 道雄 議員

未曾有の台風被害に対する被災者支援策

Q 被災者への支援が今後の重要課題となるが、見解を伺う。

A 被災者支援窓口を設置し、被災者がもとの生活に戻れるよう支援を行っている。相談窓口には11月25日以降、平均60人程度の方が相談に来ている。引き続き、早期完全復旧に向け全力で取り組んでいく。

市長の政治姿勢について

Q 木更津駐屯地へのオスプレイ暫定配備への対応について伺う。

A 飛行ルートや訓練計画内容を精査するとともに、県、近隣市と連絡を取り合い、情報収集に努めている。今後は飛行ルート下にある市と連携して、国に説明を求めていく。

学校再編統廃合計画

Q 閉校となる学校に対する、市主催の「閉校記念式典」を求める住民の声について、見解を伺う。

A 閉校式を市主催で行うことは想定していないが、地域の方々が実行委員会を組織して、式典を行う場合には、一定の支援をする。また、来年度に閉校する上総小櫃中学校、清和小学校にあたっては、市主催の開校式を行う予定となっている。

高い国保税の大幅引き下げ

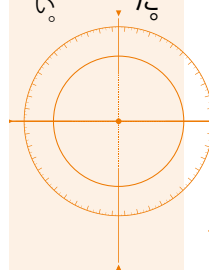
Q 全国知事会等が国に求めている、1兆円の公費投入が実現した場合、国民健康保険加入世帯への影響について伺う。

A 国が1兆円の公費を追加投入した場合、1人あたり3万5千円程度の減額が見込まれる。

委員会の焦点

各常任委員会では、付託された議案をそれぞれ審査しました。
主な議案の審査概要は、次のとおりです。

※議案名は、議案等の審議結果(5ページ)を参照してください。



総務常任委員会



野上慎治委員長

となるため、ほとんどの臨時職員において、年収増になるものと見込まれる。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第10号

(内容) 令和元年10月の千葉県人事委員会の勧告に準じ、一般職の職員の給料月額及び期末・勤勉手当の支給率、並びに、住居手当の支給対象となる家賃額の下限及び支給限度額の引き上げを行おうとするもの。

審査案件(議案第7号から議案第10号、議案第25号、議案第27号)

◆議案第7号

(内容) 全国的に活用が図られている臨時・非常勤職員等について、その雇用形態や服務などの明確化や、同一労働・同一賃金による適正な待遇の確保を目的として創設された会計年度任用職員制度を導入しようとするもの。

問 日々雇用職員や非常勤職員への具体的な影響について伺う。

答 賃金水準が一定以上の臨時職員にあっては、一部減額となるケースがあるものの、期末手当や地域手当等が支給されるこ

問 条例改正による影響額について伺う。
答 給料表の改正による影響が約950万円、賞与の引き上げによる影響額が約1千770万円であり、全体で約2千700万円程度である。(全会一致で可決すべきものと決定)

◆議案第27号

問 消防団運営関係費に関し、消防団に携帯用無線機を配備する効果について伺う。

答 災害対応時など、必要な情報を双方向かつ迅速に伝えることができ、消防団活動に資するものであること、さらに、的確に情報が伝わることで消防団活動での安全面の効果も期待できる。(全会一致で可決す

べきものと決定)



君津市総合防災訓練の様子

教育福祉常任委員会



松本裕次郎委員長

審査案件(議案第12号、議案第14号から議案第16号、議案第23号、議案第26号から議案第28号)

◆議案第14号

(内容) 君津市地域福祉推進センターの指定管理者として、令和2年4月1日から3

年間、社会福祉法人 君津市社会福祉協議会を指定しようとするもの。

問 社会福祉協議会の役員の構成及び選考方法について伺う。

答 理事の定数は10名から15名となっており、評議員会において選任し、会長1名、副会長2名を理事の互選で選任している。(全会一致で可決すべきものと決定)



地域福祉推進センターちゅうちゅう館

◆議案第16号

(内容) 国保小櫃診療所の指定管理者として、令和2年4月1日から5年間、公益社団法人 地域医療振興協会を指定しようとするもの。

問 指定管理の期間を5年間とした理由について伺う。

答 市の指針としては3年から5年を原則としている中で、診療の継続性及び雇用の安定性の確保という観点から5年間とした。

問 当該団体の近隣における実績について伺う。

答 神奈川県で2つ、静岡県で1つ、小櫃診療所と同規模の診療所の指定管理を行っており、県内では、浦安市で病院を運営している。（賛成多数で可決すべきものと決定）

◆議案第26号

問 被災者支援事業における人材派遣業務について伺う。

答 被災に係る相談や被災者支援メニューの案内等を行うもので、週5日間、1日当たり、6時間30分、4名体制での派遣を年度末まで導入しようとするものである。

意見 相談内容は多岐にわたると思われるため、派遣職員の入れ替わりの際など、市民にとって支障がないよう対応されたい。（全会一致で可決すべきものと決定）



市役所4階に設置された被災者支援相談窓口

経済環境常任委員会



奈良輪政五委員長

審査案件（議案第11号、議案第13号、議案第17号から議案第22号、議案第24号、議案第26号、議案第27号、議案第29号から議案第31号）

◆議案第13号

（内容） 神門コミュニティセンターの指定管理者として、令和2年4月1日から2年間、神門地域コミュニティ活動推進委員会を指定しようとするもの。

問 指定管理の期間を2年とした理由について伺う。

答 当該施設は、入浴施設の管理、料金徴収等の業務があり、指定管理者の負担が大きいことから、指定管理期間を2年とすることにした。施設の管理方法などについて、適切に情報共有し、協議を重ねることで、指定管理者の負担軽減を図っていきたい。

意見 今後も連携を密に取るとともに、収支についても適宜確認されたい。（全会一致で可決すべきものと決定）

◆議案第17号

（内容） 君津市物産館の指定管理者として、令和2年4月1日から3年間、有限会

社 きみつふれあいの里を指定しようとするもの。

問 現在の指定管理者が申請に至らなかった理由及び役員構成について伺う。

答 令和2年3月31日までの指定管理者である亀山地区アグリ・リゾート推進協議会は地域への貢献など、一定の目的を果たしたことから、今後、解散予定と聞いており、また、指定候補団体の役員構成については、亀山地区アグリ・リゾート推進協議会と重複する役員がいる。

賛成討論 当該施設は重要な観光スポットであることから、地域の経済振興に資するようしっかりと事業計画の精査をすることと、トラブル等が起きないように適切な指導を継続して欲しい。（全会一致で可決すべきものと決定）

◆議案第19号

（内容） 君津市森林体験交流センターの指定管理者として、令和2年4月1日から3年間、特定非営利活動法人 ワーカーズコープを指定しようとするもの。



森林体験交流センター（木のふるさと文化センター）

問 現在の施設管理における指定候補者の課題について伺う。

答 昨年度は、自主事業において、当初は計画通りに実施できないことなどがあったが、現在は改善されている。

賛成討論 今後も本施設の設置目的を踏まえた事業展開を進めていくことを期待したい。

◆議案第27号

問 農地災害復旧事業に関し、支援対象の範囲について伺う。

答 農家の負担を軽減するため、復旧工事が40万円に満たない小規模なものに関しても、原材料を支給することにより、復旧支援を図っていく。（全会一致で可決すべきものと決定）

◆議案第31号

問 損壊家屋の撤去費に係る事業費の算出方法について伺う。

答 千葉県が示している参考価格を基に1棟あたり、270万円を見込んでおり、市内の被災状況と過去の災害における例を参考とし、算定した結果、対象棟数については、100棟を見込んでいます。（全会一致で可決すべきものと決定）

※議案第26号、議案第27号、議案第31号については、一般会計補正予算となります。補正予算の主な内容については3ページを参照して下さい。



成果を検証し、 次年度予算へ反映

10月25日の第1回臨時会において委員11名からなる決算審査特別委員会が設置され、11月8日、11日、12日の3日間にわたり、平成30年度君津市一般会計決算をはじめとする各特別会計決算の認定議案6件の審査を行いました。慎重審査の結果、認定第1号、認定第2号、認定第5号、認定第6号は賛成多数で、その他2つの認定案件については、全員異議なく、原案のとおり認定すべきものと決定しました。

委員会における主な質疑等、審査の概要については、次のとおりです。



決算審査 特別委員会の概要



須永和良委員長

認定第1号 一般会計

問 特別滞納整理事業及び市税収納事務費に関し、事業の成果について伺う。

答 高額滞納者への粘り強い折衝、差し押さえなどの滞納処分の実施、納付方法の拡大等により、徴収率の向上、不納欠損額および収入未済額の縮減につながっており、

今後も、新規の滞納者への対応を早期に行い、滞納の累積を防止するなど、更なる徴収率の向上を図りたい。

問 ひとり暮らし老人緊急通報システム設置事業における誤報対策について伺う。

答 操作に不慣れなため、誤報となってしまうということが多くあり、その際には、業者から丁寧な説明をしてもらうよう対応している。

意見 ひとりでも多くの命が救われるよう、今後も制度の周知を徹底し、設置促進を図りたい。

問 分別収集した容器包装プラスチックの再資源化の状況について伺う。

答 容器包装リサイクル協会に再資源化を委託しており、また、市独自で処理を実施しているものについても燃料化により適正にリサイクルしている。

問 亀山駅周辺整備事業に関し、事業全体の構想及び園路広場漏水復旧工事における施工業者との危険負担について伺う。

答 平成30年度は交流広場におけるダスト舗装を行った。令和元年度には、残る広場のインターロッキング舗装を行い、予算の状況にもよるが、令和2年度に、トイレや照明の設置を行い、亀山駅周辺を訪れる観光客等の利便性の向上を図っていく。漏水復旧工事については、漏水箇所は農業用水管のバルブ周辺であり、管についてはコンクリートによる補強を市で施行してあった

が、バルブ周辺については補強をしていなかったことが漏水の原因と推測されることから工事の施工業者に責めを負わせることは適切でなく、市において、負担することとしたものである。

意見 今後も事業の施工にあつては、不要なトラブルが生じないよう十分留意されたい。



ダスト舗装を行った亀山駅周辺整備事業の交流広場

問 (仮称) 外箕輪・貞元線道路新設改良事業の進捗よく状況について伺う。

答 過去、選定したルートについて地元から合意が得られなかったことから、意見聴取などを行い、協議を重ね、平成30年度新たにルート選定のための業務を行ったものである。

今後は、地元と丁寧な合意を形成し、まちづくり計画との整合を図りながら着実に進めていきたい。

問 デジタル防災行政無線施設整備事業に
関し、デジタル化した際の維持管理費につ
いて伺う。

答 Jアラートやツイッターで緊急情報を
発信するための機能の構築、スマートフォ
ンアプリへの対応、また、中継局を増設し
たことなどから、維持管理に係る経費は増
加する見込みである。

意見 今回のような、災害発生による停電
時には、防災無線だけが頼りになるといっ
た状況も考えられるので、「聞こえない」
ということがないように、適正な投資をお願
いしたい。



新設された防災行政無線
屋外拡声子局

問 光ファイバーを活用した、効果的な教
育活動の実現について伺う。

答 現状、調べ学習としてインターネット
を活用しているが、今後、総合的な学習等
の中で、各地域を結び、様々な交流を広げ
ていくといった活用方法についても検討し
ていきたい。

意見 スカイプ等のテレビ電話を使い他国
の学生と交流するなど、家ではできないよ
うなインターネットの活用方法を考え、教
育活動に生かしていただきたい。



民間事業者が運営する君津清和診療所

認定第2号 国民健康保険特別会計

問 直営診療所の状況について伺う。

答 清和については、地域の要望を踏ま
え、平成30年度より在宅療養を行うことが
できる民間医療機関の運営に変更した。

小櫃については、平成29年度の常勤医師
の退職をうけ、平成30年度は民間医療機関
の協力により、診療日数を縮小しながら運
営を継続しているが、令和2年度以降は、
指定管理による運営を予定している。

また、松丘、笹については引き続き常勤
医師による直営の運営を予定している。

意見 地域医療確保のため、より良い医療
環境が提供できるよう継続した努力をお願
いしたい。

委員会討論



反対討論

●認定第1号（一般会計）

主に（仮称）小櫃・上総地区中学校統合整備
事業や保育園環境整備事業について反対。

●認定第2号（国民健康保険特別会計）

資格証明書や短期被保険者証を発行している
ことについて反対。

●認定第5号（介護保険特別会計）

負担している介護保険料に見合ったサービス
が受けられないため反対。

●認定第6号（後期高齢者医療特別会計）

制度そのものについて反対。

賛成討論

●認定第1号（一般会計）

時間外勤務の削減や基金の有効活用を図るな
ど、平成26年度決算における、附帯決議に関して、
一定の成果を上げたこと、また、保育園の環境整
備や学校再編については、子どもたちを育む、よ
り良い環境整備のため、必要な事業である。

●認定第2号（国民健康保険特別会計）

資格証明書の発行については、法令を遵守し
た適正な取り扱いである。

●認定第5号（介護保険特別会計）

介護給付費適正化事業の実施等により、年々
増加の一途をたどってきた保険給付費を縮減さ
せるなど、介護給付費の適正化に努めている。

●認定第6号（後期高齢者医療特別会計）

高齢者の医療費を安定的に支えるためには、
必要な制度であり、本市においても健全な運営
がなされていることは評価できる。

議会基本条例に基づく

議員間討議を実施

本市議会の最高規範となる議会基
本条例が令和元年10月に施行されま
した。

条例では、「決算の審査では、委
員会の意見を集約するため各委員が
意見を述べる場を設けなければなら
ない」と規定しており、決算審査特
別委員会の中で出た意見について議
員間討議を行いました。

11月28日の本会議の委員長報告で
は、以下の事項について、委員会全
会一致の意見として、市へ申し入れ
を行いました。

申し入れ事項

- ① 成果の出ていない事業について
は、事業の廃止など、見直しを
すること。
- ② 議決した予算は、スピード感を
もって確実に執行すること。
- ③ 特別会計については、財政健全化
の観点から、安易な法定外の繰
り入れは行わないこと。



周東中学校開校記念式が行われました

令和元年4月1日に小糸中学校と清和中学校を統合し、新たに周東中学校が開校しました。12月7日に地域の方々や関係者と共に新たな門出を祝して開校記念式が行われ、鵜田剛議長は「周東中学校としての新たな歴史と伝統が築かれていくものと期待している」と市議会を代表し、祝辞を述べました。



八街市議会が本市を視察

1月17日に八街市議会が「議会基本条例の策定と課題等」について、調査のため本市を訪れました。市議会の基本理念や運営の基本原則を規定した君津市議会基本条例は、議会基本条例策定特別委員会、小委員会で何度も協議を重ね、令和元年10月に施行されたものです。

視察では、多くの質問が出され、議会基本条例策定特別委員長の小倉靖幸議員をはじめ、小委員会のメンバーであった5名の議員が、条例の制定に至った経緯や、条例制定後の議会及び議員の動向について説明を行うなど、活発な意見交換が行われました。

議員研修に参加しました

1月15日に開催された千葉県南市議会議長会議員研修会に本市議会議員が参加し、「議会としての災害対応のあり方」についての講演を聞きました。

講演では、地域の防災力を高めるために、自助・共助が大切であること、災害時に備えるためのマニュアルを作成し、非常時の連絡体制等を整備することが重要であることなどの話がありました。

また、1月24日には、本市でかずさ四市議会議長会議員研修会を開催し、本市議会議員も研修テーマである「いくつかの視点から地方議会を考える」についての講演を聞きました。



1月15日に開催された
千葉県南市議会議長会議員研修会の様子

令和2年 第1回定例会 2月17日(月) 開会予定です

会議日程を配信しています

定例会・常任委員会・特別委員会・全員協議会の日程をホームページで配信しています。なお、配信する会議については、傍聴することができます。

詳細については、議会ホームページの最新情報及び会議のお知らせよりご確認ください。



第4回定例会傍聴者数
137人(本会議5日間)



きみつ市議会だより編集委員

- 委員長／保坂 好一
- 副委員長／野上 慎治
- 委員／松本 裕次郎 奈良輪 政五 高橋 明

● 発行／令和2年2月1日

● 編集／きみつ市議会だより編集委員会

〒299-1192 君津市久保2-13-1 君津市議会事務局

● TEL 0439-56-1497

● URL : <https://www.city.kimitsu.lg.jp/site/gikai/>